

工事写真報告書

工事番号 平成 28 年度

工事名 T様邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 小倉北区 常盤町

工 期 着 手 平 成 年 月 日

竣 工 平 成 年 月 日

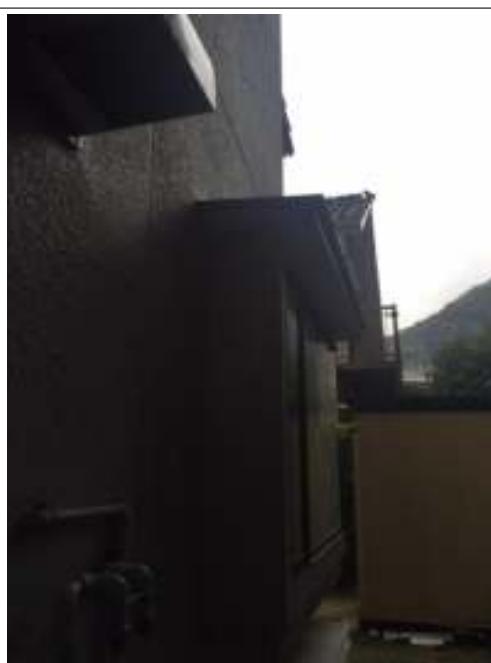
工事施工者 ベストホーム株式会社



外觀



外觀



外觀



外観



屋根 洋風コンクリート瓦

セメント:骨材=1:3(セメント瓦は1:2)で作られており、新築当時は基材・スラリー層・アクリル塗装からなっています。

この瓦の施工の際は脆弱なスラリー層を除去し塗装を行わないと、剥離を起こしてきますので、下地処理がかなり大事になります。



屋根 洋風コンクリート瓦

施工手順

高压洗浄(2回)…脆弱なスラリー層の除去

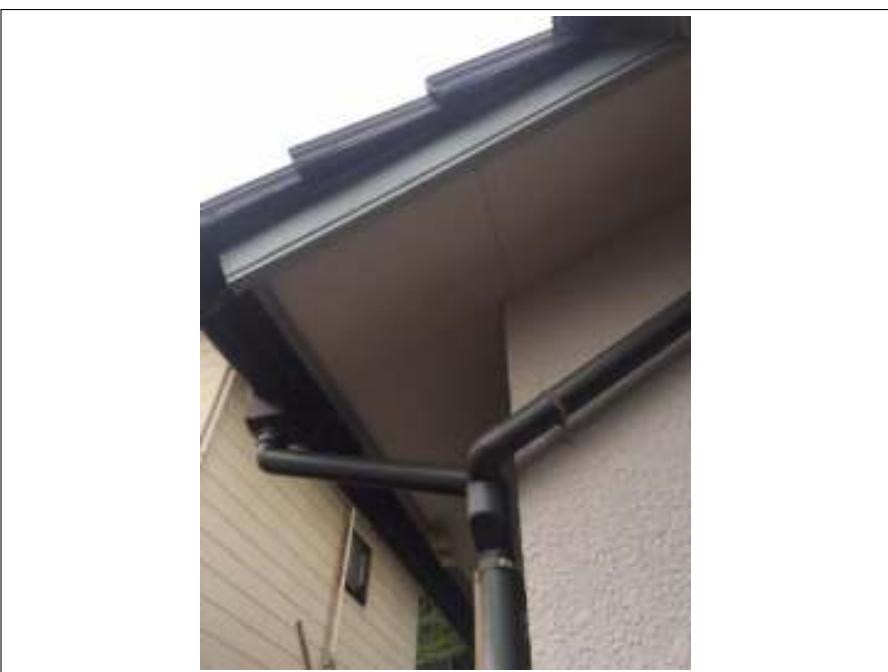
その後に下塗2回塗(屋根の下地再生補強)・中塗・上塗を行います。



破風板

経年劣化しています。

劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



樋

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます



小庇

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



雨戸

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



目地 クラック部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修をおこない塗装をしていきます。



サッシ廻り クラック部

同上



外壁 塗装剥離

外壁の塗膜表面が劣化しております。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 塗装剥離

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

認定証明書

外装劣化診断士

認定番号：13100230

氏名 戸高 勇樹 様

外装劣化診断士認定試験の結果、基準を満たし合格したことを証します。

認定年月日：13100230



一般社団法人住宅保全推進協会